

令和4年度 特例の教育課程の実施状況報告

1. 学校・市町村概要

屋部小学校

・教育目標: ● かしこく やさしく たくましい子

・所在地 ● 名護市字屋部47番地

・児童数(R4. 5.1 現在)

学年		小学校							特別支援学級	中学校				小中計
		1	2	3	4	5	6	計		7	8	9	特別支援学級	
児童生徒	本校	123	117	110	114	104	110	45	##	/	/	/	/	/
学級数		5	4	4	4	3	4	9	33	/	/	/	/	/
児童生徒	分校	2	4	0	1	0	0	1	7	/	/	/	/	/
学級数		1		0	0	0	0	1	2	/	/	/	/	/

○名護市概要【人口】63,309人【学校数】小学校11校、中学校6校、小中一貫校2校

2. 教育課程特例の取り組み・概要

ねらい

- 歌や遊びなどの活動を通して、英語特有の発音やリズムに慣れる。
- 間違いをおそれず、英語の音声をまねし、進んで発話する。



取組内容

令和4年度は、1年生で10回、2年生で18回の外国語活動を行いました。1年生では、挨拶や自己紹介という基礎的なやりとりを中心に、活動にバリエーションを持たせ、楽しく習得できる工夫をしました。2年生では、既習事項に加えて、新しい語彙を歌やダンス、ジェスチャー、クイズ、ゲームなど、リズムや遊びを通して自然に発話できるような授業を心がけました。両学年とも、前時に学習したことをWarm-upとして振り返りを行いました。また、ハロウィンやクリスマスでは、ぬりえやカードづくりを通して、外国の文化を感じられるアクティビティを行いました。3学期には、アルファベットに興味を持たせるために、名前のぬりえや歌、遊びを通して文字に触れ合う機会を持ちました。



3. これまでの成果と課題、今後の取り組み

様々な活動を通して、児童に外国語でのコミュニケーションの楽しさを体験させることができました。多くの児童がJTEと学校で出会うと「HELLO!」と自分から進んであいさつをします。児童が恥ずかしがらず、自然に英語を発することができる環境が育まれていると感じます。今後は、授業の中での外国語講師による英語使用頻度を増やすために、HRTと外国語担当講師がバランスよく協同していければと思います。